

モニターレポート（12月報告）

【報告内容①】

・籠尻川河川公園にテレビが捨てられていました。プラスチック製ワゴン、木製棚、車関係のスプレー缶なども多く、増水で流されてきた物ではないと思います。冬になり、木々の枝葉や草が少なくなっていたせいか、いつもよりも不法投棄のゴミを見つけやすかったような気がしました。寒くて、天候も悪く、作業状況は良くないと思いますが、冬にゴミ拾いのボランティアができるといいなと思いました。

・阿賀野川ゴミ拾いのボランティア活動をしたことが今まで一度もないので参加したいと思っています。身近にどんなボランティア団体やグループがあるのか知りたいです。活動日時、活動場所を知るためにはどうしたら良いでしょうか。テレビ局がエコ活動として、コマーシャルで海などの清掃ボランティア募集しているのを見ますが、阿賀野川河川敷もテレビ局のエコ活動になっていたりするのでしょうか？

・たまに、壊れて使えない家電などを無料で回収してくれる業者がチラシをポスティングしていきます。自宅玄関にチラシを貼って玄関先に置いておくと、回収していきます。そのような業者を不法投棄の家電処理依頼をし、活用すると経費削減になるかもしれないと思いました。

・阿賀野川河川事務所のホームページを拝見しました。中身が充実していて、大変興味深かったです。今回は、特に、地点別浸水シミュレーション検索システムを試してみました。氾濫水到達時間や浸水継続時間などが、自分の自宅付近の地図に色分けで表示されるので、とても分かり易かったです。と同時に、川のどの部分が氾濫するとどうなるのか危機感をもつことができました。私は新井郷川のすぐそばにに住んでいるので、万が一に備えなければならぬと感じることができました。事務所の方々が、計画的に川の安全の為に仕事をされているので、住民も自分で情報収集や防災備蓄など出来ることは自分でしていく必要があると思いました。

【事務所からのコメント】

日頃より河川愛護モニター活動にご協力頂きありがとうございます。

12月分の活動報告ありがとうございました。

不法投棄の件ですが、巡視でも確認されています。捨てられたテレビ・冷蔵庫は家電リサイクル法対象品で違法と知りながらの犯罪行為です。出張所では、河川巡視中に発見された家庭ゴミ等は、全て回収し分別のうえ適正に処分しています。

さて阿賀野川河川敷周辺のゴミ拾い活動ですが、隣接する自治会(町内会含む)、農家組合、漁業協同組合等が主体となって長年清掃活動に取り組んで頂いております。今のところ一般参加者を募った活動報告はありません。

これから寒さが一段と厳しくなって参ります。モニター活動につきましては、十分注意されますようお願いいたします。

お気づきの点がありましたらご連絡下さい。引き続きよろしく願いいたします。

モニターレポート（12月報告）

【報告内容②】

12月3日（日）の午前8時過ぎから阿賀野川床固め公園、阿賀野川フラワーラインを拠点に担当区域をじっくりと観察しました。

満願寺閘門付近の川の水も澱むことなく流れていました。今回の観察では、雨の量も多かったので、阿賀野川全体の水量も多く床固め付近も床固めにいつも通りに川水が強く当たっていました。阿賀野川床固め公園の駐車場には車が3台、駐車されていました。川で小さな船が21艘、漁をしていました。初めて見ましたが、何が取れるのか興味津々でした。ペットボトル、空き缶のポイ捨ては阿賀野川床固め公園、阿賀野川フラワーライン内、土手には、観察した限りなかったです。河川敷一帯や川辺付近にも不法投棄のゴミ類は一切なかったです。公園内、土手、川岸付近の草も適度に刈られていて良い感じでした。

阿賀野川河川事務所のホームページで水防災パンフレット「水害からあなたと家族の大切な命を守るために」を拝見しました。水害時の様子を知ることが出来ました。阿賀野川河川事務所のホームページを見る度に感心しています。

冬の阿賀野川床固め公園の閑散とした様子を見る度にもったいないと思っています。“どんど焼き”の様なイベントでたくさんの人を集められたら良いと考えています。

【事務所からのコメント】

日頃より河川愛護モニター活動にご協力頂きありがとうございます。

阿賀野川周辺では白鳥と遭遇する日が多くなっています。積雪状況にもよりますが、これからも占用地内では湛水した水田を中心に、ご覧頂けるのではないのでしょうか。（主に右岸、水田）

報告を頂きましたモニター活動中の水量ですが、当時は12月上旬頃に降った雪が融雪したものとわれ、馬下水位観測所（橋左岸上流）では、平常時に比べ20センチ前後の増水が観測されていました。一方で、ご覧頂いた船は「鮭し網漁」、鮭漁(9/20～12/31)と思われます。各漁協所属の許可船が漁を行っています。

時節柄、降雪時期に差し掛かりますが引き続き阿賀野川で感じられる河川モニター活動をよろしく願います。

お気づきの点がありましたらご連絡下さい。引き続きよろしく願います。

モニターレポート (12月報告)

【報告内容③】

- ・今年晩秋を実感せぬまま、一ヶ月以上も早く冬の訪れを感じていたところ、12月6日に秋葉区周辺に集中した一日で30cm近くの豪雪に見舞われ、新潟市中央区の会議に出席するのに車で三時間近く要し、会議終了直前に到着するという苦い経験をしました。
- ・今年もはや師走となり、これから特に慌ただしくなるので、今月は早めに報告書を作成すべく冬空の雨天の続くなか、雨装備をして巡回パトロールを実施。
- ・今月も馬下の阿賀野川頭首工から小松を経て、六野瀬の国交省安田除雪基地手前で国道49号線から左折、農道から川岸の堤防道路に出て渡場床固め(白い濁流が綺麗だった)・安田橋・高速道路阿賀野川橋梁・都辺田川公園・千唐仁・阿賀浦橋・きょうがせステーションを経てNo157付近の出張所河川管理区域境界標迄を巡視。
- ・年末の師走ともなると阿賀野川河川敷一体は、一面茶色の枯れ野で、天候も悪いせいもあり人影もまばらでほとんど河川敷はこれから冬眠状態になることから、特段変わったことなし。
- ・阿賀浦橋では、右岸上流側の橋の防護柵工事が橋の半分位まで行われておりました。
- ・阿賀野川きょうがせ防災ステーション前の堤外地側では、ブロック等の制作・ブロックの野積みブルーシート掛けの箇所など、引き続き「河床洗掘防止ブロック工事」や「羽越線阿賀野川橋梁ブロック製作据付工事」が鋭意雨の中行われていました。
- ・最後に、先月もお尋ねしたのですが、阿賀野川の「本流」と「支流」の定義・考え方を是非教えて下さい。
つまり、なぜ、阿賀野川の源流が、荒海山(1,580メートル)が源流の阿賀野川になるのか？
なぜ、燧ヶ岳(2,356メートル)尾瀬沼の檜枝岐川や北ノ又川からなる只見川でないのか？
私は、長さも水量も「只見川」が本流になるのではないかと考えてしまいます。
よろしく、ご指導の程お願いします。

【事務所からのコメント】

日頃より河川愛護モニター活動にご協力頂きありがとうございます。

報告にあった12月6日の降雪では、朝晩の通勤時間帯に大渋滞となりました。その日は、山間部はほとんど降らず秋葉区を中心に豪雪でした。この様に平野部にもまとまった雪になることもあのかと驚いた次第です。

今回は雨の中、阿賀野川頭首工右岸から渡場床固、きょうがせ防災ステーションを経て出張所管理境のNo.15.7k付近まで、巡視していただきありがとうございました。

・ご報告のあった阿賀浦橋右岸上流の防護柵は、占用主体の新潟県で施工しております。

・羽越本線阿賀野川橋梁ブロック製作据付工事についてのご報告がありました。本工事のような河川内工事は、大きな出水が少ない秋口から冬期間にかけて行われることが多いため、雨や雪の天候が悪い日に施工することが多くなってしまいます。冬期間は、事故のリスクが高まりますので、安全管理には万全を期して施工を進めまいります。

・「本流」と「支流」については、一般的には長さ、水量が多い河川が本流であることから、ご指摘のとおり只見川がそういう観点で行けば「本流」といえると思います。ただし明確な定義はないため、当所では前回ご説明のとおり、人口資産が集中する会津盆地を流れる阿賀川の会津若松市を中心とする一部を直轄河川管理(国が直接管理)としており、只見川でなく阿賀川を幹川流路(本流)としています。従って、パンフレットでは阿賀川(幹川流路)の源流である荒海山を源流として当所では紹介しております。この様に河川の延長、水量等を重要視するか、資産の集中する治水上の重要度を重要視するか等、見方により「本流」の定義は変わるものだと思います。

お気づきの点がありましたらご連絡下さい。引き続きよろしく願いいたします。

モニターレポート（12月報告）

【報告内容④】

12月17日14時頃から
阿賀浦橋から下条大橋まで確認をしてきました。
曇り 気温3度

大きな不法投棄物などは発見できず、異常もありませんでした。気になる点として、前回は報告しましたが、新たに道路が出来るのか、金屋球場脇の土手に土が盛られ工事が進んでいました。また、阿賀浦橋袂付近、阿賀野市側の河川拡張工事が進んでいる所が気になりました。

【事務所からのコメント】

日頃より河川愛護モニター活動にご協力頂きありがとうございます。
今回は寒い中、阿賀浦橋～下条大橋を巡視いただきいただきありがとうございました。

・大きな不法投棄もなく異常も無かったということでした。引き続き良好な管理に努めて参りたいと思います。

・前回報告でもあった、金屋球場脇の土手に土が盛られる工事が進んでいたということでしたが、これについては前回報告での回答が今回の報告までに間に合わなかった可能性がありますので、再度回答させていただきます。土が盛られていた箇所は、新潟市所有の土地で元々市の方で盛り土がなされていた箇所です。ただ平らに盛り土されておらず、不規則な盛り土形状となっていました。また、雑草も繁茂している状態となっていたところです。そこで、当所で来年度以降の工事で使用するブロックの製作ヤードとして利用するために、河川改修工事で発生した土砂で平らに盛土及び整正を行っているものです。なお、製作ヤードとして使用した後の利用方法については市の方では未定と聞いております。

・阿賀浦橋袂付近、阿賀野市側の河川拡張工事が進んでいる所が気になったとのご報告がありました。この工事についてご説明します。阿賀浦橋下流にあるJR羽越線橋梁部は、堤防の高さが低くなっており、平成23年7月発生の新潟・福島豪雨では水位が計画の高水位を超過するなどし、水防活動で土のう積みを行っております。このため、堤防をかさ上げし上下流の堤防と同じ高さにしたいところですが、かさ上げするには羽越線鉄橋を高く架け替える必要があります。しかしながら、架け替えには莫大な費用がかかるなど様々な理由で実現は難しいものとなっています。この様なことから、当面洪水が流れる断面を大きくすることにより水位の低下を図るために、河道掘削工事を行っています。

お気づきの点がありましたらご連絡下さい。引き続きよろしくお願いたします。